

安全データシート(SDS)

改訂日:2025/6/20

1. 化学品及び会社情報

製品名称と記号	ゴムテープ
会社名	矢崎エナジーシステム株式会社
住所	静岡県沼津市大岡2771
担当部署	電線開発センター
電話番号	055-924-2235
FAX番号	055-925-0806

2. 以降は別紙参照

安全データシート (SAFETY DATA SHEET)

作成日 2025 年 4 月 21 日

1. 製品品及び会社概要

化学品の名称 : ゴムテープ (W 3 5 MM * T 1 MM * L 1 M)
供給会社名 : 富士工業株式会社
住 所 : 東京都八王子市左入町 5 0 番地
担当部門 : 技術部
電話番号 : 0 4 2 - 6 9 1 - 1 3 1 1
FAX 番号 : 0 4 2 - 6 9 1 - 1 1 6 0
推奨用途 : 工業用途のみ

2. 危険有害性の要約

製品の G H S 分類

物質化学的危険性 : G H S 区分可能な危険有害性はない。
健康に関する有害性 : G H S 区分可能な危険有害性はない。
環境に関する有害性 : G H S 区分可能な危険有害性はない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	C A S 番号	含有量	官報公示 整理番号
エチレン・プロピレン・ジエン共重合体 (詳細は非公開)	25038-36-2*	55-74%	6-47*
カーボンプラック	1333-86-4	0.6%	元素のため 対象外
鉱油	72623-86-0* 72623-87-1*	5-10%	(9)-1692*
ロジン	8050-09-7	0-1%	未設定
酸化亜鉛 (Z n O)	1314-13-2	1-3% %	1-561
2-メルカプトベンゾチアゾール	3006-86-8	0-0.4%	3-2341
テトラメチルチウラムジスルフィド	137-26-8	0-0.2%	2-1820

* 推定

改正化管法政令（2022 年 3 月 31 日更新）

第 1 種指定化学物質	2-メルカプトベンゾチアゾール テトラメチルチウラムジスルフィド
特定第 1 種指定化学物質	非含有
第 2 種指定化学物質	非含有
労働安全衛生法：通知対象化学物質	カーボンブラック（130） 鉱油(168) ,酸化亜鉛(188) ロジン(632) テトラメチルチウラムジスルフィド(372)

4. 応急措置

吸入した場合 : シート状固体のために該当しない。

衣服、皮膚などに付着した場合

：直ちに衣服と状況に応じて靴を脱ぎ、石けんを使い多量の水で洗い流す。
溶融物が皮膚と衣服に付着した場合は、衣類の上から多量の水をかけて十分に冷却する。異常を感じた場合は、すぐに医療機関で新札を受ける。
皮膚だけに付着した時も同様の処置をする。

目に入った場合 : 目を大きく開け、まぶたの裏まで多量の水で 15 分以上よく洗浄し、医療機関で診察を受ける。

コンタクトレンズを着用している場合で簡単に外せる場合は外すこと。
その後も多量の水で 15 分以上よく洗浄し医療機関で診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせず、口を水ですすぐ。

意識がない場合は、口から絶対になにも与えないこと。安静に暖かくして直ちに医療機関で手当を受ける。

予想される急性症状

：情報無し

遅発性症状の最も重要な徴候症候

：情報なし

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

：救助者は状況に応じて、目、皮膚の適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

：症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 ：水掛けあるいは水噴霧。粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤

使ってはならない消火剤 ：なし。

有害燃焼生成物 ：一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化硫黄などのガス。

特有の消火方法 ：消火活動は、可能な限り風上から行う。
火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
延焼の恐れがないように、容器、周辺の設備などに散水して冷却する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防護服、防災面など）を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

：作業者は適切な保護具（「8 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。

環境に対する注意事項

：直接、排水溝あるいは河川に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：掃き集めて廃棄用容器に入れる。
溶融状態で漏出したときは、水などで冷却し固化させたのちに処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 ：設備対策を行い、保護具を着用する（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）。
移動時に静電気を発生することがあるので、可燃性溶剤を使用する時は、アースをとるなどの対策を講じる。

安全取扱注意事項：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避：混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」を参照）から離しておく。

衛生対策：取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保 管

技術的対策：国の規制に則って保管すること。
直射日光を避け、乾燥した、涼しい、換気の良い場所で保管すること。
熱、火花、炎から離しておく。
屋内貯蔵を原則とし、床面に水が浸入、浸透しない構造とする。

混触禁止物質：「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

安全な容器包装材料

：段ボール箱、プラスチックコンテナを使用する。透明な包装材料を避けて、空気、日光に直接晒さないようにする。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：全体換気装置、必要に応じて局所排気装置などを設置した場所で取り扱う。

手、眼などの保護具：軍手などの保護手袋、保護眼鏡の使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外 観：黒色のシート状固体

臭 い：微臭有

融点・凝固点：情報無し

沸点、初留点及び沸騰範囲：非該当

燃焼性：通常環境で着火した場合、燃焼が継続する可燃物である。

溶解度（水）：なし

自然発火温度：情報なし

1 0. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 成形・加工時に発生する低分子量化合物は、静電気などによって着火、爆発を起こす可能性がある。
避けるべき条件	: 直射日光、熱源などで過熱状態になるようなことは避けること。
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化硫黄

1 1. 有害性情報

急性毒性

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない。
急性毒性（吸入）	: 分類できない。
急性毒性（経皮）	: 区分に該当しない。

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない。

発がん性 : 分類できない。

特定標的臓器毒性 : 分類できない。

誤嚥有害性 : 分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 情報なし。

残留性・分解性 : データなし。

生態蓄積性 : データなし。

土壌中の移動性 : データなし。

オゾン層への有害性 : 分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共
団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために都道府県知事などの認可を
受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送 (IATA-DGR) : 国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

海上輸送 (IMDG-Code) : 国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送 : 消防法、道路法の規定に従う。

海上輸送 : 規制なし。

航空輸送 : 規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩防止を確実に
行う。

1 5. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類) 3, 0 0 0 キログラム以上

毒物・劇物取締法 : 該当しない。

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき化合物 カーボンブラック、鉱油、酸化亜鉛、
ロジン、テトラメチルチウラムジスルフィド

化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）

: 該当しない。

水質汚濁防止法 : 該当しない。

下水道法 : 該当しない。

海洋汚染防止法 : 該当しない。

船舶安全法 : 該当しない。

航空法 : 該当しない。

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 自社データ

原料各社のSDS

N I T E GHS分類結果一覧（2015）

その他文献調査等により得られた情報

注意及び免責事項 : 本SDSは、現時点で入手できる資料、有害性などの情報に基づき
当該製品の取り扱い、輸送、保管、使用、廃棄、漏洩時の処理などを
安全に行っていただくために作成されたものです。
記載されている情報は、いかなる保証をするものではありませんし、
品質を特定するものではありません。
また、このSDSのデータは、ここで指定された物質のみについてで
あり、指定されていない工程での使用法や、指定されていない材料との
組み合わせ使用については有効ではありません。
特別な用途あるいは扱いをされる場合には、用途、条件に適した安全
対策を実施されますようお願い致します。